

2010年(平成22年)11月30日(火曜日)

スポーツニッポン

# 黄金時代幕開け大塗 都市大



東京都市大塙房が2-0で上田西に快勝し、6年ぶり2度目の新人大会制覇を果たした。前半1分にFW根本康平主将(2年)が相手のミスに付け込んで先制すると後半11分には得意の

# 元 金 三 年 ぶり 元

## 2発零封文句なし!新校名初タイトル

上田西流雪辱V3阻止

ミス逃さず先制  
お家芸で追加点  
文句なし。都市大塩房が  
安定した試合運びで6年ぶり  
に新人王座を奪回した。  
相手のミスを見逃さない  
したかさで主導権をガッ  
チリ握った。開始一分。左  
CKのこぼれ球を上田西G  
Kがファンブル。FW根本  
がすかさず詰めて先制し  
た。「中信予選から点が取  
れてなかつたので、狙つて  
いた」と値千金の大会初ゴ  
ールに笑顔も満開。高橋裕  
之監督(51)も「常に狙つて  
いろと言ってきたが、よく  
やつた。あれで楽になつた」  
と主将の一撃を絶賛した。  
追加点はお家芸でものに  
した。後半11分、MF青島  
がスルーパス。これに反応  
したDF水田瑛が右サイド  
から折り返すと、中央に走  
り込んだMF中村が合わせ  
て2点目を挙げた。「都市  
大のサッカーはサイド攻  
撃。サイドが起点にならな  
いと勝てない」。前半は左、  
後半は右へボジョイントチャ  
ンジして相手をかく乱した  
中村は胸を張った。  
昨年4月に武藏工大二か

「新人大会は通過点で決勝進出を果たす、つまり現校名となつて初のタイトルは、この1年ほど同メンバーで戦つてきました。チームの成長を示すものだ。新人大会準優勝で自ら得て臨んだ今年。総戦は2回戦、選手権は4回戦で敗れた。「もつと戦わねば」と思ふが、敗因は根本的に「チーム練習からかけ合いで勝った」と付いた。意識。このアップ中の組からラウンドへが飛んでいた。

「新人大会は通過点で決勝進出を果たす、つまり現校名となつて初のタイトルは、この1年ほど同メンバーで戦つてきました。チームの成長を示すものだ。新人大会準優勝で自ら得て臨んだ今年。総戦は2回戦、選手権は4回戦で敗れた。「もつと戦わねば」と思ふが、敗因は根本的に「チーム練習からかけ合いで勝った」と付いた。意識。このアップ中の組からラウンドへが飛んでいた。

「新人大会は通過点で決勝進出を果たす、つまり現校名となつて初のタイトルは、この1年ほど同メンバーで戦つてきました。チームの成長を示すものだ。新人大会準優勝で自ら得て臨んだ今年。総戦は2回戦、選手権は4回戦で敗れた。「もつと戦わねば」と思ふが、敗因は根本的に「チーム練習からかけ合いで勝った」と付いた。意識。このアップ中の組からラウンドへが飛んでいた。

のたほタ回体信をいりやらんに析らひや氣な後声を曰を控ヶ声を

無断転載禁止

著作権はスポーツニッポン新聞社に帰属します  
転載承認済

東京都市大学グループ  
学校法人 五島育英会